

事例 1

トラックボールの改造①

1 相談内容

相談者は対象者本人で両手指が不自由な方です。『普段からイラストを描くソフトを使っているがトラックボールの操作がやりにくいので、改造して使いやすくしてもらえないだろうか。』と相談がありました。詳しく理由を尋ねると『左クリックボタンを押したままカーソルを移動させるドラッグ操作がうまくできないので、トラックボールに左クリックを保持する機能を付けてほしい。』とのことでした。トラックボールの設定ソフトで解決できると回答しましたが、イラストを描くソフトのキー設定と競合していて、絵を描く機能で使えないものがあるので物理的に実現したいと要望されました。

2 対象者プロフィール

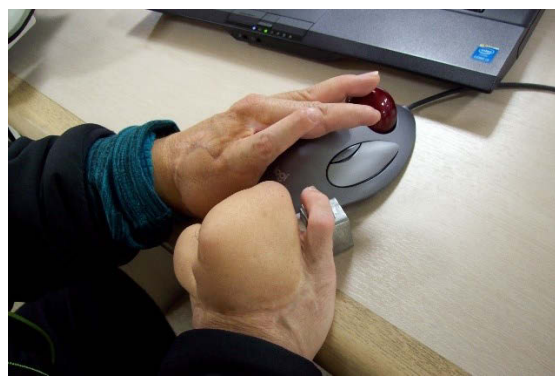
50 代男性、身体障害者手帳 2 級です。両手指圧挫創により手指に欠損があります。一人暮らしをしています。身の回りのことは自分で行い、車の運転もします。

3 対応

対象者が希望したスイッチの操作位置(トラックボール右横)へ固定できるように鉄板を曲げ加工して台を作り、そこに ON/OFF ロック機能を持つオルタネイト型スイッチを取り付けます。次にトラックボールの裏蓋を開け、左クリックボタン部分にリード線をハンダづけして引き出し、このスイッチにもハンダづけしてつなぎます。あとは蓋を閉めてトラックボールと台を両面テープで固定しました。



トラックボールと右横のスイッチ



トラックボール操作の様子

4 結果

対象者が行う操作は①アイコン選択後、②左中指でボールを回し、③右小指でスイッチを押し込んでロックさせます。④左手でボールを回して止めたい場所へ移動させ、⑤右小指でスイッチを押してロック解除します。これでドラッグ操作を代替することができます。

5 予算

400 円程度